

目次

【解説】地域教育連携 報告シートについて	3
報告シート	
・小学校金管バンドの指導支援ボランティア	4
・食育教室「おいしいものを美味しく食べよう」 田んぼアート田植え作業の食育講演	5
・あさひかわ食楽探検隊2016	6
・旭川市地域連携アートプロジェクト	
・中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館巡回展出前授業プログラム	7
・通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	8
・旭川地域連携アートプロジェクト	
「『写真の町』東川町写真コレクション 写真インパクト！」展 鑑賞プログラム	9
・北オホーツク100kmマラソン 大会ボランティア	10
・きたのde寺子屋	11
・利尻富士町 「平成27年度 夏休みチャレンジ教室」	12
・中頓別放課後子ども教室 子どもチャレンジ教室2015 夏	13
・地域貢献としての音楽演奏【道北おとぼけキャラバン】 「ナイトミュージアム・コンサート～童謡・唱歌でつづる『学校の音楽の時間』のあゆみ」 「クラシックなるほどコンサート」	14
・旭川市通学合宿	15
・浜頓別町夏休み学習サポート事業	16
・枝幸町大学生フレンドシップ事業	17
・全校音楽集会への参加「吹奏楽の魅力を伝えよう」	18
・音楽分野の学生による「音楽鑑賞交流会」	19
・2015年度旭川市中国語・日本語スピーチコンテスト	20
・第10回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア	21
・第70回北海道国語教育研究大会旭川大会第13分科会	22
・AWBC イベント 自然や科学技術を楽しく学ぼう！2015	23
・自然科学技術を楽しく学ぼう「ひんやり・しゅわしゅわラムネのひみつ」 AWBC旭川ウェルビーイング・コンソーシアムイベント	24
・浜頓別町小中学校長期休業中学習会	25
・北海道上川管内技術家庭科研究会 平成27年度スキルアップ研修会	26

・科学探検ひろば2016 身近なふしぎを探検しよう。	27
・三浦綾子作文表彰式	28
・平成 27 年度放課後子ども教室「子どもチャレンジ教室 2016 冬」	39
・音楽分野の学生によるオペレッタ「シマフクロウの伝言」公演	30

付属資料

・学生ボランティア事業（概要）	31
・平成 27 年度 授業公開講座一覧	34
・学校訪問受入／出前授業（27. 4. 1～28. 3. 31）	35
・平成 27 年度 審議会等派遣一覧	36
・平成 27 年度 講演会講師・助言者等派遣一覧	38

【解説】地域教育連携 報告シートについて

このシートは、北海道教育大学旭川校の教員が主体として、または橋渡し役として行っている地域教育連携活動をまとめたものです。内容は、自治体や教育関係団体と本学教員が共同で行っている事業、本学教員による研修会・講演会、学生の派遣事業など多岐にわたっております。

なお、本報告は教員の自主申告に基づいており、必ずしも現在行われている地域教育連携事業のすべてを網羅したものではありません。また、内容が一部重複するところもあります。

シートの見方

各項目には以下が記載されています。

テ ー マ：地域連携事業、研修会の名称

日 時(期 間)：事業が行われた日時もしくは期間

場 所：事業が行われた場所

参 加 人 数：事業に参加した人数の総計

担 当 者：事業にかかわった本学教員及び関係者

概 要：事業のおおよその内容

成 果：事業がもたらした成果

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	小学校金管バンドの指導支援ボランティア
日時 (期間)	平成27年4月～平成27年11月 主に火曜日。土曜日も実施。のべ15回。
場 所	旭川市立近文小学校
参加人数	各回平均6名程度（音楽分野1年生）
担当者	芳賀 均
概 要	<p>少年団活動として、旭川市立近文小学校で伝統的に行われている金管バンドの活動であり、学校行事・地域行事等にも多く動員されている。</p> <p>3～6年生の希望者で構成されるが、特に最上級生が卒業して3年生の初心者が加入してくる春の活動が困難さを抱えている。指導者は教員2名とボランティアの保護者若干名である。そこに、外部ボランティアを導入することにより、譜読みや演奏法等に関する指導上の効果を上げるとともに、学生の意識改革を促すことを目的としている。</p> <p>また、秋のコンクールに向けて、学生も感情移入しながら一緒に取り組むことにより、教育という営みの有機的な面に気付いてもらいたいと考えている。</p> <p>なお、この事業は「教育フィールド研究Ⅱ」の一部として実施する。</p>
成 果	<p>本学旭川校は中学校の教員養成に力を入れているが、本活動を通して、教科の専門的な内容だけでなく、教育という営みそのものに学生の意識が向いたことが大きな成果である。1年生の4月という、まだ教育実習を経験しないどころか入学早々の時期から、継続的に小学生の子どもたちと触れ合ったことにより、受け手の気持ちに気付き、一方的な指導に陥らない感覚をもつことができたようである。</p> <p>また、オープンキャンパス参加者および入学希望者からは、この活動をしてみたいとの声が多く聞かれた。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	食育教室「おいしいものを美味しく食べよう」 田んぼアート田植え作業の食育講演
日時 (期間)	平成 27 年 6 月 6 日
場 所	JA たいせつ倉庫前 田んぼアート
参加人数	市内小学生親子 40 組 80 名
担当者	生活・技術教育専攻食生活学ゼミナール生・菅野 友美
概 要	<p>旭川市を含む上川管内では、米の産地として有名であり、JA たいせつでは、毎年、田んぼアートを行い、地域の小学生に田植え体験をしたり、田んぼアート見学を開催している。田んぼアートとは水田をキャンバスに見立て色の異なる稲を使って絵を描くものである。東鷹栖町にある「田んぼアート」は縦 40m×横 170m の大きさに、緑・紫・黄・赤・白・橙の稲を使って、今年は「田んぼアート 10 年の奇跡」をテーマにデザインし、ホッキョクグマ、キングペンギン、カバ、ワオキツネザル、タントウを描いた。その田植え体験を通して小学生に食育についての知識を身に付けて食生活にも取り入れてもらえるよう、食育教室を開催した。</p>
成 果	<p>学外で、小学生やその保護者に食育を伝える良い機会になった。今年は劇を行い、子ども達は大喜びで、大好評だった。反省点もあるが、それを次回に活かしていきたい。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	あさひかわ食楽探検隊 2016
日時 (期間)	平成 27 年 6 月 20 日～平成 27 年 9 月 19 日
場 所	旭川市役所、谷口農場など
参加人数	市内小学生 20 名
担当者	生活・技術教育専攻食生活学ゼミナール生・菅野 友美
概 要	<p>「あさひかわ食楽探検隊」は北海道のグルメや産物を中心に、各地の自慢の味が一同に集う食の採点「北の恵み 食べマルシェ」の企画の一つで、旭川市内の小学生たちが農業体験や調理実習などを通して旭川の食について楽しく学ぶ取組である。昨年度は乳製品を取り上げ、オリジナルスイーツを試作し、発表した。今年度は「トマトを使った料理集」を作成し、食べマルシェの会場で発表した。この活動を初日からサポートし、子ども達のアイデアを引出して発表までを指導した。</p>
成 果	<p>この取り組みは、子どもたちが考え、作り、まとめ、発表するという活動全体に学生が関わったという点で、教育大ならではの食育・地域連携の取り組みといえる。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川市地域連携アートプロジェクト 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館巡回展出前授業プログラム
日時 (期間)	平成27年6月25日(木)～12月10日(木) 各実施校の授業時間内
場 所	旭川市内小中学校, 特別支援学校
参加人数	参加児童生徒1084名 指導等参加者24名 (彫刻美術館学芸員2名, 小中学校教員12名, 教育大学教員2名, 教育大学学生8名)
担当者	名達 英詔
概 要	<p>地域の美術文化振興を目指して中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館が実施する市内小・中学校への彫刻作品貸出巡回展事業を有効活用するための鑑賞プログラムである。子どもの鑑賞の広がりや深まりを促すことをねらいとして市内小中学校教員, 彫刻美術館学芸員, 教育大学教員および学生によって開発され, 全体ガイダンス・対話型鑑賞・体感型鑑賞によって構成されている。</p> <p>対話型鑑賞は, 展示された彫刻をグループで鑑賞しながら感想や意見を交わす活動であり, 体感型鑑賞は, 彫刻に触れることを通して様々な発見や感覚, 考え, 知識を得る活動である。</p> <p>いずれも鑑賞者の発達に応じた授業案が用意されており, 指導役の美術館学芸員, 小中学校教員, 大学教員・学生のナビゲートにより教室やロビーなど学校施設内に展示された彫刻を用いて実施されている。</p> <p>本年度は, 市内17の小中学校・特別支援学校の児童生徒を対象に延べ37回の授業が実施された。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加児童・生徒・教職員の活動の様子, 事後アンケートの結果から参加者の満足度が高く, 彫刻の鑑賞に対する意欲の向上, 美術館及び美術作品への関心の高まりといった学習効果が見られた。 ・ 参加スタッフにおいては, 鑑賞授業実践への意欲化が図られた。 ・ 鑑賞授業の実施を通じた学生の教育実践力向上が図られた。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」
日時 (期間)	平成 27 年年 7 月 5 日～10 日
場 所	永生寺
参加人数	学生 1 名 小学生 10 名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、浜頓別町教育委員会が主催するもので、「子どもたちが、異年齢の集団の中で共同生活をしながら通学をする生活体験により、協調性や社会性を養うことを目的とする」ものである。昨年度中に浜頓別町内の永生寺の改修が終了したため、今年度から再び文字通りの寺子屋塾となっている。小学校 4 年生から 6 年生が対象で、本年度は 10 名が参加した。</p> <p>本学は、浜頓別町との相互協力協定に基づき、本事業に対して学生の派遣を継続して行ってきた。本年度は、英語教育の女子学生が全日程に参加した。</p> <p>本年度は以下のようなスケジュールとなっている。</p> <p>7 月 5 日 オリエンテーション・夕食作り・銭湯体験</p> <p>7 月 6 日～9 日 朝食作り・夕食作り・銭湯体験・後片付け</p> <p>7 月 10 日 朝食作り・まとめ</p> <p>学生は、活動全般で小学生をサポートした他、1 日に 2 号発行される「寺子屋塾ニュース」の作成およびホームページのアップ作業も行った。</p>
成 果	<p>学生が作成した「寺子屋塾ニュース」は浜頓別町のホームページで閲覧可能である (http://www2.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/sed/d/2618)。</p> <p>担当職員からは、「今年も素晴らしい学生に恵まれたこと感謝いたします」との回答をいただいている。また、参加した小学生からは、ボランティア学生に対して多数の感謝の言葉が記された手紙が贈られた。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川地域連携アートプロジェクト 『写真の町』東川町写真コレクション 写真インパクト！」展 鑑賞プログラム
日時 (期間)	平成27年7月18日(土), 19日(日), 26日(日), 8月22日(土), 23日(日), 29日(土) 10:00~12:00
場 所	北海道立旭川美術館
参加人数	参加生徒317名 指導者33名(旭川美術館学芸委員3名, 中学校教員23名, 教育大学教員1名, 教育大学学生6名)
担当者	名達 英詔
概 要	<p>本プログラムは、児童生徒の鑑賞能力向上を目指し、道立旭川美術館学芸員、旭川市内中学校美術科担当教員、北海道教育大学旭川校教員及び学生が協力開発したものであり、旭川市内・周辺郡部中学校美術部生徒が旭川美術館企画展「『写真の町』東川町写真コレクション 写真インパクト！」展の作品をギャラリーツアー・自由鑑賞・ワークショップの三つの内容によって鑑賞した。</p> <p>美術館に参集した生徒はグループに分かれて展示室に入り、美術館学芸員、中学校教員、大学教員・学生のナビゲートにより作品を見ながら、それぞれの感想や意見を交わし合うギャラリーツアーに参加したり、個別に自らの興味・関心に沿った作品を鑑賞する自由鑑賞を行ったりした。また、共通のテーマに沿ってグループごとに撮影した写真を他校生徒と鑑賞し合うワークショップも行った。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒においては、作品の見方や考え方が深まり、自ら進んで鑑賞しようとする姿が見られた。また、例年参加している生徒においては、回を重ねることによって学習が積み上がる様子も見られた。 ・ 学生が中心となって開発したワークショップでは、多様な表現意図や鑑賞者の意見が交わされ、表現と鑑賞をつなぐ場が得られた。 ・ 本プログラムを基に美術部の写真展を実施することとなるなど、学習の広がりが見られた。 ・ 参画する組織による柔軟な協力と運営の合理化により、効果的なプログラムが実現した。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	北オホーツク 100km マラソン 大会ボランティア
日時 (期間)	平成 27 年年 7 月 25-26 日
場 所	浜頓別町
参加人数	学生 12 名
担当者	社会科教育専攻社会学ゼミ
概 要	<p>本事業は、浜頓別町が主催するウルトラマラソンで、今回で第 4 回となる。近年のマラソンブームもあり、また、本大会も年々認知度が高まり、700 名を超える参加者が集まる。5 時から始まり 19 時をリミットとする大会であり、さらには、参加者の増加も相俟って、ボランティアに対する需要が増加し、町内のボランティアのみでは運営が難しい状況になっている。</p> <p>2013 年度末に浜頓別町を訪れた際、本大会への学生ボランティア派遣について話があり、以来、本学旭川校の社会学ゼミが代表して大会に参加することとなった。</p> <p>本年度割り当てられた役割は、以下のとおりである。</p> <p>25 日 前夜祭の準備・レセプション・後片付け手伝い</p> <p>26 日 A 班 仁達布エイドステーション手伝い (7:10-15:10) (うち女子 2 名は 16:00-19:00 までゴール係)</p> <p>B 班 仁達布エイドステーション手伝い (10:40-18:40)</p> <p>昨年に続き今回も、激しい雨と気温の低下など、あいにくの悪天候で、特に大会午前中のボランティア作業は困難な状況にあったが、大会運営に貢献してくれた。</p>
成 果	<p>本事業への参加は 2 年目を無事に終え、浜頓別町にとっても、運営スタッフの一員として期待できる存在となっていると思われる。また、社会学ゼミにとっては、ゼミの年中行事の一つとして高齢化することになり、持続的な参加が可能な形となっている。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	きたの de 寺子屋
日時 (期間)	平成 27 年 7 月 27 日～8 月 17 日 平成 27 年 12 月 28 日～平成 28 年 1 月 18 日
場 所	ぬくもりの家 えん
参加人数	(夏季) 大学生 1 名 (冬季) 大学院生 1 名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、鷹栖町社会福祉協議会が主催する、地域と福祉施設（ぬくもりの家「えん」）と北野小学校が共同し、夏季および冬季休業期間中に行われる学習サポート事業である。夏季は上記期間中の毎週月曜日に、冬季は 12/28・1/6・1/8・1/13・1/15・1/18 に実施され、1-3 年生（9-10 時）と 4-6 年生（10 時 30 分-11 時 45 分）の 2 部制になっている。児童が持ってくる教科書・問題集をベースに、全教科を対象に行われるものであり、夏休みの宿題等も持ちこまれる。「学習する楽しみを知ってもらい学習する習慣を、みにつけてもらうという趣旨」で実施されている。</p> <p>従来は、鷹栖町内の元教員や鷹栖高校の生徒たちが支援ボランティアとして参加していたが、本年度、本学旭川校にも学生派遣の依頼があり、それを受けて、夏季に学部 1 年生 1 名、冬季に大学院生 1 名を派遣したものである。なお、実施日のうち、本学学生の参加は、夏季 7/27、8/3、8/10 の 3 日、冬季 1/8・1/13・1/15・1/18 の 4 日である。</p>
成 果	<p>本年度は、夏季については教育フィールド研究Ⅲにリンクさせての学生派遣となった。このような学習サポート事業は、道内の市町村では広く行われており、本学学生へのボランティアへの希望も高い。本事業はその一つとして位置づけられるものであるが、単位とのリンクによって学生派遣を拡大するというひとつの道筋は垣間見えたのではないかとと思われる。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	利尻富士町 「平成 27 年度 夏休みチャレンジ教室」																								
日時 (期間)	平成 27 年 8 月 7 日 (金) ～平成 27 年 8 月 11 日 (火)																								
場 所	鴛 泊 小 学 校																								
参加人数	<u>小学生 70 名</u> <u>1 年生 10 名</u> <u>2 年生 12 名</u> <u>3 年生 20 名</u> <u>4 年生 6 名</u> <u>5 年生 16 名</u> <u>6 年生 8 名</u> <u>中学生 10 名</u> <u>1 年生 10 名</u> <u>のべ 400 名</u>																								
担当者	三 浦 裕																								
概 要	<p>7 年連続開催となったこの事業は、長期休業期を利用し、「短期集中講座を実施することにより、将来教員をめざす学生とのふれあい、自然とのふれあいを持ち、学ぶ意欲のある子ども達に対して、安全・安心な居場所を設け、学習機会や様々な体験を提供する」ことをねらいとした事業である。</p> <p>利尻富士町からの企画・運営支援要請や学生派遣の要請に応えるべく調整を重ね、7 名の学生派遣を決定した。</p> <p>参加児童・生徒を 1 年生～6 年生までの 6 クラス、中学生の 1 クラスに編成し、各教室で本校学生らがクラス担任として 5 日間の日程で学習の指導を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">21 年度参加児童生徒</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">58 名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">派遣者 (要請)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">学生 4 名</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">22 年度参加児童生徒</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">74 名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">派遣者 (要請)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">学生 5 名 教員 2 名</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">23 年度参加児童生徒</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">76 名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">派遣者 (要請)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">学生 7 名</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">24 年度参加児童生徒</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">81 名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">派遣者 (要請)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">学生 6 名</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">25 年度参加児童生徒</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">98 名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">派遣者 (要請)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">学生 7 名</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">26 年度参加児童生徒</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">99 名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">派遣者 (要請)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">学生 7 名</td> </tr> </table>	21 年度参加児童生徒	58 名	派遣者 (要請)	学生 4 名	22 年度参加児童生徒	74 名	派遣者 (要請)	学生 5 名 教員 2 名	23 年度参加児童生徒	76 名	派遣者 (要請)	学生 7 名	24 年度参加児童生徒	81 名	派遣者 (要請)	学生 6 名	25 年度参加児童生徒	98 名	派遣者 (要請)	学生 7 名	26 年度参加児童生徒	99 名	派遣者 (要請)	学生 7 名
21 年度参加児童生徒	58 名	派遣者 (要請)	学生 4 名																						
22 年度参加児童生徒	74 名	派遣者 (要請)	学生 5 名 教員 2 名																						
23 年度参加児童生徒	76 名	派遣者 (要請)	学生 7 名																						
24 年度参加児童生徒	81 名	派遣者 (要請)	学生 6 名																						
25 年度参加児童生徒	98 名	派遣者 (要請)	学生 7 名																						
26 年度参加児童生徒	99 名	派遣者 (要請)	学生 7 名																						
成 果	<p>子ども教室教育支援員や利尻高校ボランティアらが副担任となっているため、サポート体制も充実し、学生個々の独創性も尊重された事業であった。クラス間交流の場面では参加者の年齢差の対処に戸惑う場面も見受けられたが、子どもの発達に応じた指導法等、今後の実践に役立つ事業参加であった。</p> <p>今年は、休日をはさんだため、昨年を下回る参加であったが、毎年、学生を心待ちに参加してくれる参加者もあり、地域に根付いた取り組みであることから、今後も継続してほしい事業である。</p>																								

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	中頓別放課後子ども教室 子どもチャレンジ教室 2015 夏	
日時 (期間)	平成 27 年 8 月 10-11 日	
場 所	中頓別町町民センター・中頓別町町民体育館 他	
参加人数	大学生 1 名	
担当者	地域連携・貢献推進委員会	
概 要	<p>本事業は、小学生を対象として、①夏休みの学習の場として、「苦手な勉強の克服」にチャレンジする、②水泳にチャレンジする（「自分自身で目標を立てる」）、③川釣りにチャレンジする（「自然の生き物とどうやって遊ぶかを考える」）を目標としている。事業の進行は以下の表のとおりである。</p>	
	1 日目：8 月 10 日 (月)	2 日目：8 月 11 日 (火)
	<p>9：00 集合 オリエンテーション 9：30～水泳を楽しもう 12：00～昼食（カレーライス） 13：00～学習「算数に挑戦！」 16：00～夕食づくり（手巻き） 19：00 片付け・解散（送り）</p>	<p>8：45 集合 9：00～釣り体験 12：00～昼食 （おにぎり持参、カップ麺） 13：30～水泳記録に挑戦！！ 15：00 解散</p>
<p>学生は、学習サポートや運動・レク活動の補助を主な役割として担った。</p>		
成 果	<p>従来、中頓別町との間では、冬休み期間中に行われている子どもチャレンジ教室に学生を派遣してきたが、昨年度からその夏バージョンを行うにあたって学生派遣が実現した。こうしたことにより、中頓別町との連携をより強固なものとする事ができていると思われる。</p>	

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	地域貢献としての音楽演奏 【道北おとぼけキャラバン】 「ナイトミュージアム・コンサート～童謡・唱歌でつづる『学校の音楽の時間』のあゆみ」 「クラシックなるほどコンサート」
日時 (期間)	平成27年8月24日 平成27年8月25日
場 所	浜頓別町立郷土資料館（24日） 浜頓別町役場町民ホール（25日）
参加人数	5名（音楽教育専攻大学院生2名、音楽分野学生1名、教員2名）
担当者	芳賀 均
概 要	<p>平成27年8月24、25日に、浜頓別町で音楽分野の教員・学生5名による「道北おとぼけキャラバン」演奏会を行った。</p> <p>地域での演奏会は、音楽分野の芳賀均講師が中心となって実施している地域貢献としての教育的演奏会活動の一環で、生の演奏に触れる機会が都会に比べて少ないへき地の子どもたちや幅広い地域住民の方に生の演奏に触れてもらう機会を設けることを目的として昨年度より実施している。</p> <p>24日は、浜頓別町立郷土資料館で「ナイトミュージアム・コンサート～童謡・唱歌でつづる『学校の音楽の時間』のあゆみ」と題して、「ふるさと」などの童謡・唱歌を中心に、廃校になった地域の小学校の校歌も交えて16曲を演奏した。</p> <p>25日は、浜頓別町役場町民ホールで、ピアノの木村貴紀准教授を迎え、「クラシックなるほどコンサート」と題して、『白鳥の湖』や『魔王』などのクラシックを演奏し、2日間あわせて120名を超える町民の方にお集まりいただいた。</p>
成 果	<p>本活動を通して、学生の演奏に対する意識に変容が見られた。すなわち、聴き手の気持ちを考えた構成や演示の方法等についてである。また、プログラム構成の方法からは、授業法に通ずる考え方等についても学ぶ機会となった。</p> <p>現地からは、今後の継続や、さらなる内容の充実等に関する要望をいただき、今後の連携の足掛かりとなった。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川市通学合宿																		
日時 (期間)	平成 27 年年 8 月 26-29 日																		
場 所	春光台公民館・啓明地区センター・中央公民館																		
参加人数	5 名 (高台 1・啓明 2・朝日 2)																		
担当者	地域連携・貢献推進委員会																		
概 要	<p>本事業は、地域住民によって構成される通学合宿実行委員会が主催者となつて行われるもので、旭川市および市内各地区に設置されているまちづくり推進協議会との共催事業でもある。①「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに家族と離れて集団生活を送ることで、家族への思い、自立性・協調性を高める、②子離れ体験を通じて子供への関わり方を見つめ直すとともに、わが子の大切さを感じるきっかけづくりを行う、③地域住民や様々な団体が連携して少年の育成に取り組むことで、地域で子供を育てる意識を高めるとともに、地域の連帯感を高める、という 3 つの目的を持って実施されている。</p> <p>本年度は、高台小学校・啓明小学校・朝日小学校の 4-6 年生を対象として実施され、本学に対しては、それぞれの地域において各 2 名ずつの学生派遣を要請された。なお、本事業に参加した 5 名のうち、2 名は教育フィールド研究Ⅲの対象事業として派遣を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%;">高台通学合宿</td> <td style="width: 15%;">8/27(木)-29(土)</td> <td style="width: 25%;">春光台公民館</td> <td style="width: 15%;">高台小4-6年生</td> <td style="width: 20%;">高台通学合宿実行委員会</td> </tr> <tr> <td>啓明通学合宿</td> <td>8/27(木)-29(土)</td> <td>啓明地区センター</td> <td>啓明小4-6年生</td> <td>啓明通学合宿実行委員会</td> </tr> <tr> <td>朝日地区通学合宿</td> <td>8/26(水)-28(金)</td> <td>中央公民館</td> <td>朝日小5年生</td> <td>朝日地区通学合宿実行委員会</td> </tr> </table>				高台通学合宿	8/27(木)-29(土)	春光台公民館	高台小4-6年生	高台通学合宿実行委員会	啓明通学合宿	8/27(木)-29(土)	啓明地区センター	啓明小4-6年生	啓明通学合宿実行委員会	朝日地区通学合宿	8/26(水)-28(金)	中央公民館	朝日小5年生	朝日地区通学合宿実行委員会
高台通学合宿	8/27(木)-29(土)	春光台公民館	高台小4-6年生	高台通学合宿実行委員会															
啓明通学合宿	8/27(木)-29(土)	啓明地区センター	啓明小4-6年生	啓明通学合宿実行委員会															
朝日地区通学合宿	8/26(水)-28(金)	中央公民館	朝日小5年生	朝日地区通学合宿実行委員会															
成 果	<p>旭川市役所の担当の方からは以下のような謝辞をいただいている。「お忙しいところご尽力いただき、ありがとうございました。それぞれの地域で学生の皆さんにご活躍いただき来年もぜひお願いしたいとの声をいただいております」。学生の働きが一定の評価を得たということが、来年以降の参加への期待につながったものと考えられる。</p>																		

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	浜頓別町夏休み学習サポート事業
日時 (期間)	平成 27 年年 8 月 3 日~5 日
場 所	浜頓別小学校
参加人数	大学生 4 名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、町内の小学生を対象に、夏休み期間中を利用した、児童・生徒たちの自主的な学習をサポートするものである。浜頓別町では、昨年度の冬に本事業を初めて開催し、本学から学生1名の派遣を行ったが、本年度からは夏にも事業を実施することとなり、初の派遣となった。浜頓別町からは、3名*3日、延べ9名の派遣を要望されたが、3名*3日、1名1日、延べ10名の派遣となった。</p> <p>なお、本事業は、道教委の学生サポーター地派遣事業を活用したものであるが、浜頓別町教育委員会から直接依頼を受けて、学生派遣を行ったものである。</p>
成 果	<p>本年度は、はじめての夏開講の学習サポート事業であったが、7月に行われた通学合宿に参加した学生を含め、4名の参加となった。道教委予算では旅費が3名までであったが、追加の1名については、町の予算での派遣が実現した。</p> <p>追加での学生を受け入れていただける関係にあることは非常に本学にとって好ましいものであり、こうした配慮に応じていけるように更なる努力が必要であると思われる。</p>

地域教育連携 報告シート

事業名	枝幸町大学生フレンドシップ事業
日時（期間）	平成 27 年年 9 月 1 日～4 日
場 所	枝幸町立の小・中学校 9 校
参加人数	教員 3 名 大学院生 2 名 学部生 13 名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、枝幸町教育委員会が主催し、本学旭川校と枝幸町による協力協定に基づき大学生を派遣しており、今回で 8 回目となる。その内容は、「配属校設定プログラム」と「学生提供プログラム」からなり、前者は、学校行事支援・授業 TT・給食指導・休み時間交流等で構成され、後者は、所属専攻分野の専門性を活かした活動である。</p> <p>今年度は、保健体育 2 グループ・技術・音楽・美術の 4 分野 5 グループが参加した。保健体育グループは「いろいろなレクリエーションゲーム」、技術グループは「レゴ・マインドストーム NXT でスマートストップ」、音楽グループは、「音楽遊びからハンドベルへ」「体験型音楽鑑賞教室」「ストロー笛を作ろう」、美術グループは「蛍光塗料で絵を描こう」を行った。なお、技術については、教職実践演習の一環として活動を展開している。また、音楽が新聞取材を受け、本事業全体の新聞報道（北海道新聞）もされた。</p> <p>これらの実施にあたって枝幸町教育委員会は、各学校との調整、旭川から枝幸への移動も含めた参加学生の移動について、また本学では、提供プログラムの開発・実施、宿泊費および用具材料の費用について、分担している。</p>
成 果	<p>本年度は、昨年度の書道グループ代わりに美術グループが参加した。美術グループは、過去の参加経験を活かし事前指導がきちんと行われていたため、担当教員が参加しなくても、学生だけで活動を問題なくこなしていた。今後も、継続的に参加しているグループに関しては、担当教員が参加しなくても事前指導の充実により、学生のみでの参加も認めていきたい。また、どのグループも受け入れ校から好評であったため、次年度以降の本事業継続を枝幸町より切望されている。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	全校音楽集会への参加 「吹奏楽の魅力を伝えよう」
日時 (期間)	平成 27 年 9 月 8 日 コンサート
場 所	旭川市立向陵小学校 体育館
参加人数	出演者：11人 (音楽分野2年生) 鑑賞者：約400人 (全校生徒)
担当者	杉江 光
概 要	向陵小学校でおこなわれる全校音楽集会で吹奏楽の演奏依頼があり、「ディズニーメドレー」などを披露した。それぞれの楽器の特色や音色、奏法などを説明しながら音楽鑑賞会を行った。
成 果	子どもたちは、大変熱心に、また、とても楽しそうに演奏に聴き入っていた。子どもたちから「すごく感動した」「色々な楽器の違いが分かった」などの感想をもらい、地域の小学校における音楽鑑賞教育に大学生が貢献できた活動であったと考える。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	音楽分野の学生による 「音楽鑑賞交流会」
日時 (期間)	平成 27 年 9 月 29 日
場 所	名寄市立名寄東小学校 体育館
参加人数	出演者：11 人（音楽分野大学 2 年生） 鑑賞者：約 180 人（全校生徒）
担当者	石田 久大・杉江 光
概 要	<p>名寄市立名寄東小学校での音楽鑑賞交流会。</p> <p>●内容 演劇を交えたストーリー仕立ての音楽鑑賞会を大学生が企画し、子どもたちの前で「吹奏楽」「和太鼓演奏」「リコーダー合奏」「鍵盤ハーモニカ合奏」「トーンチャイム」「混声合唱」の演奏を行った。</p>
成 果	<p>子どもたちが、普段目にする事のない各楽器の特性、音色、奏法などを学び、生の演奏でその音色を味わうことにより、様々な楽器に対する興味関心を引き出すことができたと考える。</p> <p>全校生徒の前で演技をしながら演奏することにより、大学生は技術的にも精神的にも大きく成長し、パフォーマンス能力が向上したと感じる。</p> <p>子どもを飽きさせないストーリー、台詞回し、演奏プログラムを大学生が考案し、鑑賞教材開発を行うことで、鑑賞教育に対する大学生の意識が高まった。</p> <p>地域の小学校における音楽鑑賞教育に貢献できたと考える。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	2015 年度旭川市中国語・日本語スピーチコンテスト
日時 (期間)	平成 27 年 10 月 4 日 (日)
場 所	サンアザリア
参加人数	20 人
担当者	旭川市日中友好協会・大橋 賢一
概 要	上記大会の中国語スピーチ部門において、審査員を務めた。
成 果	市内の中国語愛好者に対する中国語の向上に寄与した。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	第 10 回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア
日時 (期間)	平成 27 年 10 月 5 日
場 所	旭川市立緑が丘中学校
参加人数	管内中学生約 70 名, 中学校教員約 20 名, 本学学生約 20 名
担当者	北海道教育大学旭川校 渡壁 誠 (同実行委員会実行委員長), 川邊 淳子 (副実行委員長), 芝木 邦也 (同顧問)
概 要	<p>本事業は第 7 回フェアから毎年 10 月に開催されている。中学校技術・家庭科の学習成果を競う、上川管内の中学生の競技会である。また、教員サイドからは教員の教科指導や評価の研鑽の機会として位置づけられ、本年度で 10 回目の実施となる。競技会は家庭分野の包丁名人 (あなたのためのハンバーグランチ)、技術分野の木工の匠 (市販キットを用いた木工作品製作) およびロボットコンテストからなる。すべての競技は毎年行われる全国中学生創造ものづくりフェアにおける競技大会の規定を参考に企画され、授業の内容に即したレギュレーションを定め行っている。ロボットコンテストでは 8 月に事前講習会を本学教員が行っている。講習会において本学学生の製作したロボットを参考にデモンストレーションを行う。フェア当日には学生が全面的にサポートすることにより、現職教員や中学生とのコミュニケーションを図る。加えて、イベントの運営方法を学ぶ</p>
成 果	<p>本学教員と中学校教員との共同作業により両者のコミュニケーションが確立される。学生にとって教育実習以外の活動で現職教員と共同作業を通じて良好な人間関係を築くことができる。また、中学生が競技会に参加することで、ものづくりの喜びを実感し、技術・家庭科の学習成果を発揮する機会をもたらすことができる。加えて、技術・家庭科の学習内容を社会に周知する機会となる。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	第70回北海道国語教育研究大会旭川大会第13分科会
日時(期間)	平成27年10月23日(金)
場 所	旭川市東陽中学校
参加人数	40人
担当者	福家 尚(旭川市立近文小学校)・大橋 賢一
概 要	第70回北海道国語教育研究大会旭川大会の第13分科会において古典教育に関わる発表に対する助言を行った。
成 果	旭川市・上川市内のみならず、全道の国語科教員の古典教育の向上に寄与することができた。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	AWBC イベント 自然や科学技術を楽しく学ぼう！ 2015
日時 (期間)	平成 27 年 12 月 5 日(土) 11:00~14:00
場 所	旭川校自然科学棟理科教育実験室
参加人数	大学教員 9 名、大学院生 2 名、大学生 41 名。 小中学校生 28 名。
担当者	浅川 哲弥
概 要	「色が変わる化学反応」というテーマで、振ったり混ぜたりすると色が変わる化学反応をとりあげ、子供たちに演示した。
成 果	旭川ウェルビーイングコンソーシアムが資金を提供して、旭川校で主催しているサイエンスイベントでこの4年間継続して行っている。理科教育と生活技術教育の教員、学生が携わっており、様々なテーマで科学・技術の楽しさを体験し、伝えた。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	自然科学技術を楽しく学ぼう 「ひんやり・しゅわしゅわラムネのひみつ」 (AWBC旭川ウェルビーイング・コンソーシアムイベント)
日時 (期間)	平成 27 年 12 月 5 日
場 所	北海道教育大学旭川校 自然科学棟 1 階 理科教育実験室
参加人数	市内の小中高校生
担当者	生活・技術教育専攻食生活学ゼミナール生・菅野 友美
概 要	<p>自然や科学技術を楽しんで学ぼう（自然と健康のハーモニー“大雪（たいせつ）”～自然と子どもと健康～をテーマに J S T 科学技術コミュニケーション推進事業の支援で行った。</p> <p>食生活ゼミナールは食の視点からラムネを食べるとひんやりとし、しゅわしゅわするのを実際に体験してもらい、メカニズムを学んでもらった。手作りラムネは好評であった。</p>
成 果	<p>小中高校生と関わることができ、ラムネのひみつを楽しく学ぶことができた。幅広い年齢層に対応できるテーマや内容を工夫することが必要であった。参加者が少なかったのが残念であった。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	浜頓別町小中学校長期休業中学習会
日時 (期間)	平成 27 年 12 月 26 日 - 28 日
場 所	浜頓別小学校・浜頓別中学校
参加人数	大学生 5 名・小学生 56 名・中学生 18 名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、浜頓別町教育委員会主催の、長期休業中に学校で学習会を行うことで、学習習慣を身につけ、学習の楽しさを教えるとともに、指導スタッフと世代間交流を実施することにより少年の健全育成を図ることを目的とするものである。午前は浜頓別小学校で、教育委員会が用意した学習プリントを中心に 2 時間 (9:30-11:30)、午後は浜頓別中学校で、製との用意した教材を利用して 2 時間 (13:00-15:00)、学習時間が取られた。一日あたり小学生は約 60 名、中学生は約 20 名が参加した。小学校の低学年及び中学年については、参加人数が多かったため、教育委員会の職員および引率教員 2 名も適宜サポートに加わった。</p> <p>今回は、夏に参加した音楽分野の 2 年生と、社会科教育専攻における教職実践演習の一環として、4 名の 4 年生が参加した (他に、北海道文教大学の学生 1 名と浜頓別高校の生徒 2 名)。小学校では、低中高学年の 3 つに分かれての実施で、参加人数や難易度も大きく異なっていたため、学生の配置を工夫して臨むことができた。また、最終日には、低学年コースについて、学生提案の企画である、学習を兼ねた〇×クイズが実施された。</p>
成 果	<p>今回は、教職実践演習の合宿も兼ねていたため、教員 2 名が引率する形となり、事業の全容を理解することができた。また、事業後に振り返りを行い、翌日の事業運営の相談も可能になったため、事業の円滑な遂行にあたってプラスに働いたものと自負している。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	北海道上川管内技術家庭科研究会 平成27年度スキルアップ研修会
日時 (期間)	平成28年1月8日
場 所	北海道教育大学旭川校 技術棟1階 ものづくり教材開発センター
参加人数	管内中学校教員22名
担当者	北海道教育大学旭川校 渡壁 誠
概 要	<p>学習指導要領の改訂により、プログラミング・計測制御に関する学習は中学校技術家庭科技術分野で新たに必修となった学習内容の一つである。研修会では、小学生からプログラムが学べるプログラミング言語スクラッチ、さらにスクラッチを改変してLEDやモータ制御を可能としたスタディーノを採り上げた。スタディーノはアルドイーノ互換のマイコンボードとソフトウェアで成っている。</p> <p>スクラッチを用いて簡単なプログラミング学習が行えることを示した。次いでスタディーノを用いてLEDやモータの制御の学習を行った。最後に技術分野に導入された積層型の3Dプリンタによるサンプルモデル作成のデモを行った。</p>
成 果	<p>本学教員による中学校教員のスキルアップ講座であり、家庭分野とおおよそ隔年で担当している。このような機会に現場のニーズや教員研修の支援ができた。また、教員が最も関心の高い話題を提供することで当方にとっても学習のメリットがある。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	科学探検ひろば2016 身近なふしぎを探検しよう。
日時 (期間)	平成28年1月9日(土), 10日(日), 午前10:00~16:00
場 所	旭川科学館「サイパル」
参加人数	参加者: 大人 1585 名, 子ども 1641 名, 合計 3226 名。
担当者	浅川 哲弥
概 要	<p>浅川ゼミでは、「プラ板を作ろう。」 「つくって楽しい! 泡入浴剤」の2つのテーマで、ブースを出し、子供たちと一緒にそれらを作った。</p>
成 果	<p>科学館が新設されて規模が拡大したサイエンスイベントで、10回目となる。 多くの団体が参加しており、様々なテーマで子供たちに科学の楽しさを体験してもらった。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	三浦綾子作文表彰式
日時 (期間)	平成 28 年 1 月 9 日 (土)
場 所	三浦綾子記念館
参加人数	30 人
担当者	三浦綾子記念館・大橋 賢一
概 要	<p>三浦綾子作文コンクールに入賞した児童・生徒に対する表彰を行う際に総評を審査委員会の代表として話をした。</p>
成 果	<p>市内はもとより全国の児童生徒の作文に対する意欲・質向上に寄与することができた。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	平成 27 年度放課後子ども教室 「子どもチャレンジ教室 2016 冬」																																				
日時 (期間)	平成 28 年 1 月 14-15 日																																				
場 所	中頓別町民センター 寿スキー場 中頓別町民体育館																																				
参加人数	大学生 3 名																																				
担当者	地域連携・貢献推進委員会																																				
概 要	<p>本事業は、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会が主催する、「冬季休業期間中の子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けるため、地域社会の中で、異年齢の子ども・大人との交流並びに子どもたちの体験活動を通じ、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、地域の特色を活かした多様な学習機会を提供し、地域教育力の向上を図ることを目的」とした事業であり、今回は、運動と学習における目的を定め、挑戦する意欲を高める活動内容で進め、児童の体力づくりと学力向上を図ることが目指された。</p> <p>日程は以下のとおりである。本学学生は、全日程のうち、前半の 2 日間を担当した。中頓別町から 2 名要請されたが、学長戦略経費を活用して 1 名追加し、計 3 名を派遣した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">1 日目：1月14日(木)</th> <th style="width: 33%;">2 日目：1月15日(金)</th> <th style="width: 33%;">3 日目：1月17日(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30 集合</td> <td>9:30 町民センター集合</td> <td>9:30 町民センター集合</td> </tr> <tr> <td>10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)</td> <td>9:45～スキー練習 (スキー場で各自昼食)</td> <td>9:45～スキー練習</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>11:30～スキー検定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※検定終了しだい移動・解散</td> </tr> <tr> <td>13:30～移動</td> <td>13:00～移動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14:00～学習</td> <td>13:30～もうもうで「パンづくり」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:00～運動・レク活動</td> <td>※体験途中の休憩時間で学習をします。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16:30 解散</td> <td>16:30～解散(送り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17:00～夕食作り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19:00～片付け・解散(送り)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育大旭川校2名9:00～</td> <td>教育大旭川校2名 ~14:30</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 日目：1月14日(木)	2 日目：1月15日(金)	3 日目：1月17日(日)	9:30 集合	9:30 町民センター集合	9:30 町民センター集合	10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	9:45～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	9:45～スキー練習			11:30～スキー検定			※検定終了しだい移動・解散	13:30～移動	13:00～移動		14:00～学習	13:30～もうもうで「パンづくり」		15:00～運動・レク活動	※体験途中の休憩時間で学習をします。		16:30 解散	16:30～解散(送り)		17:00～夕食作り			19:00～片付け・解散(送り)			教育大旭川校2名9:00～	教育大旭川校2名 ~14:30	
1 日目：1月14日(木)	2 日目：1月15日(金)	3 日目：1月17日(日)																																			
9:30 集合	9:30 町民センター集合	9:30 町民センター集合																																			
10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	9:45～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	9:45～スキー練習																																			
		11:30～スキー検定																																			
		※検定終了しだい移動・解散																																			
13:30～移動	13:00～移動																																				
14:00～学習	13:30～もうもうで「パンづくり」																																				
15:00～運動・レク活動	※体験途中の休憩時間で学習をします。																																				
16:30 解散	16:30～解散(送り)																																				
17:00～夕食作り																																					
19:00～片付け・解散(送り)																																					
教育大旭川校2名9:00～	教育大旭川校2名 ~14:30																																				
成 果	<p>今年度の派遣学生は、昨年度の参加学生および参加予定学生（ともに 3 年生）に加え、新たに 2 年生が加わった。同一学生が継続的に参加したことは、連携の形態のひとつのあり方として評価し得るだろう。</p>																																				

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	音楽分野の学生による オペレッタ「シマフクロウの伝言」公演
日時 (期間)	平成 28 年 2 月 9 日 リハーサル 平成 28 年 2 月 10 日 本番
場 所	旭川市立永山西小学校
参加人数	出演者及びスタッフ：34人（音楽分野学生1～3年生） 鑑賞者：約130人（小学生、教員、保護者）
担当者	石田 久大（演出） 杉江 光（音楽指導、音響など）
概 要	<p>子どもたちへの芸術鑑賞会として、オペレッタ「シマフクロウの伝言」（作曲：二橋潤一、台本：石田久大）の公演を行った。</p> <p>この作品は、アイヌ語による伝言のシーンやアイヌに伝わる歌など、アイヌ語やアイヌ音楽の伝統・美学を盛り込み「踊り唄」などの唄や踊りも加えて、子どもたちの興味、関心を引く楽しい作品となっている。アイヌ語については、アイヌ語およびアイヌ文化の研究者である大田満氏から指導を受けた。また、「踊り唄」は、川村カネト・アイヌ記念館（旭川市）の川村久恵氏の指導を受けるなど、より正確にアイヌ文化を伝えるように配慮している。</p> <p>子どもたちから「おもしろかった！感動した！」という感想文が多く寄せられた。教育大学の音楽分野が地域の学校に対して芸術鑑賞会を通して、貢献できたものとする。</p>
成 果	<p>大学生が「教育現場で鑑賞教育に貢献する」事は、簡単なことではない。特に音楽劇という総合芸術において、子どもたちが飽きることなく舞台に見入って“おもしろかった！”と言ってもらうには、「歌唱力、演技力、台詞回し、音楽性、演出、舞台美術」などが鑑賞に値する一定のレベルにならなければならない。</p> <p>大きな責任感をもってこの公演に取り組み、やり遂げることにより、学生は技術的にも精神的にも大きく成長したと感じる。教師としてのパフォーマンス能力を向上させる活動であり、同時に子どもたちの鑑賞教育に貢献できたものとする。</p>

学生ボランティア派遣事業（概要）

北海道教育大学旭川校
地域教育連携・貢献推進委員会

1. 本事業のねらい

相互協力協定を締結している北海道教育大学と旭川市との協力事業の一つとして、旭川校の学生を派遣要請のあった旭川市内の小・中学校に派遣することを通し、学生のボランティア意識の高揚や教職に求められる資質能力の向上を期待するとともに、確かな学力や豊かな人間性などの育成を目指し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな教育活動を支援することにより、地域社会への貢献と旭川校の実践的教育研究の充実を図る。

2. 事業開始

2005（平成 17）年（後期 12 月）

* 当初、3 年計画で実施。その後、事業の成果に鑑み継続実施し、現在に至っている。

3. 活動内容

少年団活動や部活動を除く、教育課程内の教育活動（学習指導、特別支援学級支援等）

4. 学生派遣までの過程等

(1) 1 年間で前・後期の 2 期に分けて実施（前期：5 月～9 月、後期：10 月～2 月）

(2) 学生派遣までの流れ（前、後期共通）

- 1) 小中学校の申請のとりまとめ（市教委）
- 2) 説明会（大学）
- 3) 派遣校への通知（市教委）
- 4) 事前指導（大学）
- 5) 打ち合わせ（学生・派遣校）
- 6) 活動開始
- 7) 事後指導（大学）
- 8) 活動報告書の取りまとめ（大学、市教委）

(3) 活動計画書及び報告書 I・II の提出

- ・活動計画書：活動開始前に、学校との打合せ終了後に大学に提出
- ・活動報告書 I・II：活動終了後に大学に提出

(4) 学生ボランティア派遣事業連絡協議会の開催

年度末の 3 月に、旭川教育委員会・旭川市小、中学校校長会・大学の三者でその年度の事業 全体にわたっての事業報告・協議等を行い、次年度に生かす。

5. 派遣校及び学生実績数（2005年度後期～2015年度）

年 度	期	小 学 校			中 学 校			派 遣 総 数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2005(平17)	後 期	28	24	97	9	6	9	106
年 度	期	小 学 校			中 学 校			派 遣 総 数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2006 (平成18)	前 期	20	20	70	10	7	8	78
	後 期	27	21	61	8	3	5	66
2007 (平成19)	前 期	21	17	63	5	1	3	66
	後 期	30	18	49	5	3	6	55
2008 (平成20)	前 期	24	18	54	9	2	9	63
	後 期	32	22	62	7	6	15	77
2009 (平成21)	前 期	27	17	80	8	4	11	91
	後 期	27	20	75	9	7	19	94
2010 (平成22)	前 期	19	7	27	10	7	11	38
	後 期	28	17	59	13	11	26	85
2011 (平成23)	前 期	21	12	33	9	7	10	43
	後 期	34	12	41	13	10	25	66
2012 (平成24)	前 期	13	11	22	10	2	2	24
	後 期	34	16	37	15	6	13	50
2013 (平成25)	前 期	26	13	45	10	5	11	56
	後 期	36	29	79	12	9	38	117
2014 (平成26)	前 期	29	13	39	13	8	14	53
	後 期	39	25	88	12	7	18	106
2015 (平成27)	前 期	36	28	76	12	9	21	97
	後 期	37	27	92	12	9	24	116

* 派遣学生数については、一人で複数校参加もあり、延べ人数を示す。

6. 活動内容の概要（2005年度後期～2015年度）

(1) 学習指導の補助

小学校における算数や中学校における数学、英語学習の補助

- ・ 中学校においては、放課後学習、長期休暇中の学習への要請が増加している。小学校においては、学力が追いつかない児童及び軽度の発達障害を持った児童への個別支援が多い。
- ・ ミシン学習、水泳学習、スキー学習における個別指導
- ・ 生活科や総合学習で校外に出かける際の引率補助

(2) 特別支援学級の児童生徒への指導補助

学習及び生活全般にわたる補助、普通学級との交流学习の際の補助、運動会や学芸会の際の補助

(3) 学校行事への補助

運動会、遠足などの補助

(4) 学校図書館運営の補助

学校図書館充実への補助、図書委員会活動への補助、本の読み聞かせ活動への補助

(5) 不登校傾向の児童生徒への指導補助

7. 成果

- * 小・中学校の教育活動の充実（上記の「活動内容」についての貢献）
- * 学級経営上の効果（学生の態度が教職員の態度や学級の雰囲気に影響を及ぼしているとの声が聞かれる）
- * 大学としての主たる目的である地域貢献に寄与するとともに、教職を目指す学生にとっての実践的資質能力の習得及び向上に大きな貢献となっている。
- * 受け入れ学校及び旭川市教育委員会にとって、欠かすことのできない事業となってきている。

8. 小・中学校からの要望

- * 本事業の継続
- * 水泳学習やスキー学習への多人数の派遣
- * 特別支援学級への継続的な派遣
- * 通年を通しての同一学生の派遣

9. 課題

- * 参加学生増への取り組み
 - ・ 前期に活動できる環境の整備，遠距離学校への派遣（自転車以外の移動手段を持たない学生が増加している傾向があり，遠方への派遣が困難）
- * 受け入れ校に，一層の負担をかけずに，受け入れ校と学生との有効な連絡方法の模索

平成27年度 授業公開講座一覧

講座(授業)名	担当教員	対象	期間
中国文学史	大橋 賢一	一般市民	27.04.13 ~ 27.07.27 (15回)
漢文学特論B	大橋 賢一	一般市民	27.04.13 ~ 27.07.27 (15回)
社会学概論	角 一典	一般市民	27.04.13 ~ 27.07.27 (15回)
社会学演習Ⅲ	角 一典	一般市民	27.04.13 ~ 27.07.27 (15回)
食生活学Ⅰ	菅野 友美	一般市民	27.04.15 ~ 27.07.29 (15回)
英米文学史Ⅰ	十枝内 康隆	一般市民	27.04.09 ~ 27.07.30 (15回)
音楽教育演習Ⅴ	芳賀 均	一般市民	27.04.09 ~ 27.07.29 (15回)
中学校音楽科教育法Ⅱ	芳賀 均	一般市民	27.04.09 ~ 27.07.30 (15回)
音楽教育学概説Ⅰ	芳賀 均	一般市民	27.04.15 ~ 27.07.30 (15回)
生物化学	浅川 哲弥	一般市民	27.10.05 ~ 27.02.01 (15回)
社会科学入門 (日本とアジア)	海老名 尚 西村 邦行	一般市民	27.10.02 ~ 27.01.29 (15回)
漢文学講読Ⅱ	大橋 賢一	一般市民	27.10.05 ~ 27.01.25 (14回)
漢字漢語概論	大橋 賢一	一般市民	27.10.05 ~ 27.01.25 (14回)
現代と社会Ⅰ	角 一典	一般市民	27.10.05 ~ 27.11.30 (7回)
現代と社会Ⅱ	角 一典 千葉 胤久	一般市民	27.10.06 ~ 27.01.26 (15回)
社会調査論	角 一典	一般市民	27.10.01 ~ 27.01.28 (15回)
社会学演習Ⅳ	角 一典	一般市民	27.10.05 ~ 27.02.01 (15回)
哲学概論	佐々木 周	一般市民	27.10.07 ~ 27.01.27 (15回)
英米文学概論Ⅱ	十枝内 康隆	一般市民	27.10.01 ~ 27.01.28 (15回)
小学校図画工作科教育法	名達 英詔 南部 正人	一般市民	27.10.06 ~ 27.01.26 (15回)
音楽教育学概説Ⅱ	芳賀 均	一般市民	27.10.21 ~ 27.01.27 (15回)
小学校音楽科教育法AH	芳賀 均	一般市民	27.10.07 ~ 27.01.26 (15回)
小学校音楽科教育法BCD	芳賀 均	一般市民	27.10.02 ~ 27.01.26 (15回)
小学校音楽科教育法EFG	芳賀 均	一般市民	27.10.06 ~ 27.01.26 (15回)
日本文学概論(近代)	村田 裕和	一般市民	27.10.06 ~ 27.01.26 (15回)
篆書法Ⅱ	矢野 敏文	一般市民	27.10.13 ~ 27.01.26 (14回)

平成27年度 大学訪問等実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	内容
27.04.14	北海道紋別高等学校(1年生)	30人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
27.04.21	北海道遠軽高等学校(1年生)	64人	大学概要説明・施設見学・授業見学
27.05.01	北海道枝幸高等学校(1年生)	56人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
27.09.02	旭川市立永山中学校(3年生)	12人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
27.11.06	北海道旭川西高等学校(1年生)	240人	大学概要説明・ゼミ体験学習
27.12.04	北海道士別翔雲高等学校(1年生)	52人	大学概要説明・施設見学・授業見学
28.02.05	北海道浜頓別高等学校(1年生)	25人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
28.02.10	旭川市立大有小学校(6年生)	14人	上級学校体験
28.03.29	北海道旭川東高等学校(2年生)	15人	教員志望者のためのグループディスカッション

平成27年度 出前講座実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	講師
27.06.17	北海道石狩南高等学校(2年生)	40人	教育発達専攻 特別支援教育分野 蔦森英史講師
27.06.26	北海道旭川凌雲高等学校(2年生)	38人	教育発達専攻 教育心理学分野 懸田孝一准教授
27.07.11	旭川市立永山小学校(3年生)	27人	理科教育専攻 浅川哲弥教授
27.07.24	北海道旭川西高等学校(2年生)	26人	芸術・保健体育教育専攻 美術分野 岩永啓司准教授
27.11.04	札幌新川高等学校(1・2年生)	65人	芸術・保健体育教育専攻 保健体育分野 三浦裕准教授
27.11.11	札幌清田高等学校(1・2年生)	19人	国語教育専攻 大橋賢一准教授
27.11.20	北海道旭川商業高等学校(2年生)	19人	教育発達専攻 教育心理学分野 懸田孝一准教授
28.03.15	北海道鷹栖高等学校(1・2年生)	11人	英語教育専攻 石塚博規教授

平成27年度 審議会等委員派遣一覧

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市奨学生等選考委員	25.04.01 ~ 29.03.31
旭川市廃棄物減量等推進審議会委員	25.06.01 ~ 27.05.31
旭川市民生委員推薦会委員	25.06.01 ~ 28.03.31
北海道発達支援推進協議会委員	25.06.18 ~ 27.06.17
旭川市井上靖記念館運営協議会委員	25.08.01 ~ 27.07.31
旭川市公民館運営協議会委員	25.11.01 ~ 27.10.31
旭川市工芸センター運営委員	25.12.01 ~ 27.11.30
旭川市住居表示等審議会委員	26.01.26 ~ 28.01.25
旭川市市民参加推進会議委員	26.02.27 ~ 28.02.26
旭川市消費生活会議委員	26.03.02 ~ 28.03.01
旭川市開発審査会委員	26.04.01 ~ 28.03.31
旭川弁護士会常置委員会委員	26.04.01 ~ 28.03.31
国立大雪青少年交流の家施設業務運営委員会委員	26.04.01 ~ 28.03.31
北海道上川総合振興局地域づくり推進員	26.04.01 ~ 28.03.31
旭川市国際交流委員会委員	26.04.08 ~ 28.04.07
旭川市都市計画審議会委員	26.05.01 ~ 28.04.30
上川教育研修センター運営協議会委員	26.05.26 ~ 28.03.31
旭川市教育委員会特別支援教育推進委員会委員	26.06.01 ~ 28.05.31
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会委員	26.06.01 ~ 28.05.31
旭川市食育推進会議委員	26.06.21 ~ 28.06.20
旭川市生活館運営審議会委員	26.07.07 ~ 28.07.06
旭川市屋外広告物審議会委員	26.07.12 ~ 28.07.11
北海道上川総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会委員	26.08.01 ~ 28.03.31
旭川市文化財審議会委員	26.08.01 ~ 28.07.31
旭川市緑の基本計画検討懇談会委員	26.09.09 ~ 28.02.29
旭川市景観審議会委員	26.09.24 ~ 28.09.23
旭川市景観アドバイザー	26.10.30 ~ 28.10.29

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員	26.12.18 ~ 29.12.17
北海道立学校学校評議員	27.04.01 ~ 28.03.31
旭川医科大学・遺伝子組換え実験安全委員会委員	27.04.01 ~ 29.03.31
道北地方医療安全推進協議会委員	27.04.01 ~ 29.03.31
旭川市教育委員会学校評議員	27.05.01 ~ 28.03.31
旭川市通年制保育園に係る認定こども園整備・運営事業者選定委員会委員	27.05.01 ~ 29.03.31
北海道スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	27.05.15 ~ 32.03.31
旭川市適応指導教室運営委員会委員	27.05.25 ~ 28.03.31
旭川市環境部・廃棄物減量等推進審議会委員	27.06.01 ~ 29.05.31
旭川市不登校児治療教育推進委員会委員	27.06.01 ~ 29.05.31
上川管内特別支援連携協議会委員	27.06.10 ~ 28.03.31
旭川市立小・中学校適正配置計画検討懇談会構成員	27.06.15 ~ 27.07.31
旭川市民文化会館運営審議会委員	27.07.01 ~ 29.06.30
旭川市子ども・子育て審議会委員	27.07.01 ~ 30.06.30
旭川市庁舎整備検討審議会委員	27.08.01 ~ 28.12.31
旭川家庭裁判所委員会委員	27.08.03 ~ 29.08.02
旭川市緑の審議会委員	27.08.07 ~ 28.03.31
旭川市音楽堂等運営協議会委員	27.09.01 ~ 29.08.31
旭川市国民健康保険運営協議会委員	27.09.06 ~ 29.09.05
旭川市情報公開・個人情報保護委員会委員	27.10.01 ~ 29.09.30
北海道教育委員会「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」に係る評価手法検討会議委員	27.10.27 ~ 28.03.31
旭川市図書館協議会委員	27.12.01 ~ 29.11.30

平成27年度 講演会等講師・助言者等派遣一覧

依頼された講演会等	開催日	対象者
公立小・中学校新任教頭研修会	27.05.18	小・中学校教頭
上川管内特別支援教育ネットワーク担当者研修会	27.06.24	教育関係者
旭川家庭裁判所家庭裁判所調査官自庁研修	27.07.13	裁判所職員
北海道立教育研究所教職員研修講座	27.07.27	教育関係者
石狩教育局10年経験者研修(小・中学校)第I期研修	27.07.28	小中学校教諭
胆振教育局10年経験者研修(小・中学校)第I期研修	27.07.28	小中学校教諭
十勝教育局10年経験者研修(小・中学校)第I期研修	27.07.29	小中学校教諭
留萌教育局10年経験者研修(小・中学校)第I期研修	27.08.05	小中学校教諭
北海道豊富高等学校地域連携研修	27.09.02	教育関係者
発達障害地域支援マネージャー研修会	27.09.10	障がい児療育関係者
北海道社会福祉協議会社会福祉研究所保育士等専門研修	27.09.16	保育関係者
羅臼町立羅臼小学校公開研究会	27.09.26	小学校教職員
上川管内教育研究会各地区研究大会	27.10.1 27.10.8 27.10.6	教育関係者
全国児童自立支援施設職員研修会	27.10.02	施設職員
上川管内高等学校国語科研究会	27.10.08	高校国語科教諭
滝川市立江陵中学校校内研修会	27.10.08	中学校教職員
北海道私立幼稚園協会教育研究大会道北ブロック大会	27.10.10	保育関係者
北海道国語教育研究大会旭川大会	27.10.23	教育関係者
旭川市屋外広告物講習会	27.10.29	関係機関
富良野市教育委員会道德教育推進に係る研究会・講習会	27.11.09 28.02.08	教育関係者
空知教育局地域連携研修	27.11.09	教育関係者
足寄町生涯学習研究所教育講演会	27.11.10	教育関係者
ほっかいどう学力向上推進事業「北海道の子供たちの学力について考える会」	27.11.10	教育関係者
上川管内学校体育研究大会	27.11.10	教育関係者
上川管内高等学校教務担当教員研究協議会	27.11.11	高等学校教員
上川管内スポーツ少年団スポーツリーダー養成講習会・スポーツ少年団認定員養成講習会	27.11.14	日本スポーツ少年団登録指導者
旭川市立永山南小学校子ども支援研修会	27.11.16	小学校教職員

依頼された講演会等	開催日	対象者
上川教育局地域連携研修	27.11.20	教育関係者
石狩教育研修センター主催音楽科教育理論研修会	27.11.24	音楽担当教職員
旭川市子育て支援実務者研修会	27.11.29	保育関係者
上川教育局地域連携研修	27.12.04	教育関係者
渡島教育局地域連携研修	27.12.15	教育関係者
外国語指導助手指導力等向上研修会	27.12.15	教育関係者
上川管内言語障害教育研究会富良野地区研修会	27.12.21	特別支援学校教員
石狩教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅱ期研修	28.01.05	教育関係者
留萌教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅱ期研修	28.01.06	教育関係者
美瑛町教職員等研修会	28.01.12	教育関係者
旭川民間保育所相互育成会研修会	28.01.18	保育士
旭川市中学校長会2月研修会	28.02.01	中学校長
石狩管内女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	28.02.19	教育関係者
北海道旭川凌雲高等学校校内研修会	28.02.22	高校教職員
留萌教育局地域連携研修	28.02.22	教育関係者